



1歳くらいの ~赤ちゃん募集中~
自慢のお子さんをおみれに披露してしませんか?
メールお待ちしています!



準備も二人で

野方警察署では、鈴木北九生さんと前田孝文さんの「一人が」の「ふれあいポリス」として地域のいろいろな場面で活動しています。例えば、町会で行っている防犯パトロールへの参加や、自転車安全教室での子供たちに自転車の安全な乗り方やルールの指導、小学校での横断訓練、登下校の見守り活動。さらに、地域の餅つきにも参加することもあります。

特に重視しているのが特殊詐欺の防止活動です。今年に入つてからの被害件数は、「オレオレ詐欺」141件、「預貯金詐欺」8件、「架空請求詐欺（ヤツシユカードをだまし取る）」13件、「不正口座開設詐欺（銀行口座をだまし取る）」200件など多い。「電話での巧みな話術で高齢者をだまし取る」という大変悪質な犯罪です。

あらい地域ニュース

NO.371 11月号
令和4年11月10日発行

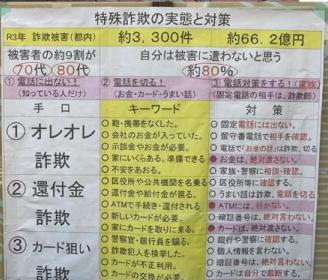
新井区民活動センター運営委員会
あらい地域ニュース編集委員会
中野区新井3-11-4
3389-1310 FAX 3389-1370



<https://nakano-arai.gr.jp/>
nakano_arai@eco.ocn.ne.jp

地域を見守る 「ふれあいポリス」をどこ存じですか?

「ふれあいポリス」とは、地域住民、警察、区役所とのパイプ役となり「犯罪の起きにくい社会づくり」や「安心安全のまちづくり」を実現させるために活動されている経験豊かな警察官のことです。特に子どもや高齢者の身近な犯罪防止、交通事故防止の啓発活動に重点を置いています。



信用金庫 ATMでの見守り

次の見守り場所へ自転車で移動

特殊詐欺防止のためにには、「電話に出ない」ことが一番良いのですが、特殊詐欺防止機能の付いた電話を活用することも有効です。この電話は区役所で貸し出しをしています。また、地域住民からの警察署への通報や情報提供がとても有効だそうです。ご近所同士の情報交換、情報共有も大切です。

今日も、オレンジ色のポロシャツ・ジャンパーを着て活動している「ふれあいポリス」の皆さん。その懸命な活動に応えるためにも、我々が特殊詐欺の被害に合わないよう十分気をつけましょう。

詐欺犯に扮して手口を再現



「このような特殊詐欺防止のため、高齢者が多く集まる場所でのぼり旗を立て、声をかけ、チラシを配りなどの啓発活動を行うほか、区民活動センターや高齢者会館で啓発のための寸劇も開催。年間50回も実施され、ふれあいポリスと野方警察の皆さん演技力も素晴らしいとの評判です。また、銀行、信用金庫、コンビニのATMでの監視を行い、4件の未然防止をすることができました。

余滴

コロナ禍と新たな地域活動

2019年12月、中国武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症。2020年1月にはWHO（世界保健機関）が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」と発表。パンデミックの始まりである間もなく三回目の冬を迎えるようになりました。現在、世界での累計感染者は約6億2300万人、死者は累計約656万人、国内では累計感染者約2143万人、累計死者は約4万5千人と公表されています。（10月5日現在）。改めて、このパンデミックが世界に与えたショックとしている現在、世界での累計感染者は約6億2300万人、死者は累計約656万人、国内では累計感染者約2143万人、累計死者は約4万5千人と公表されました。（10月5日現在）。改めて、このパンデミックが世界に与えたショックの大きさが身に染みる。コロナ感染症による死者や感染者、そして今なお闘病中の方々、また生活が大きく狂わされたまつた方々にかける言葉も見つからない。

さて、地域活動に目を向ければ、お祭り等のイベントは自粛を余儀なくされ、諸団体の総会や会議など書面やリモートで行われることが通常となり、その回数も大幅に減った。飲食を伴う懇親会等はほとんど開催されなくなった。感染対策のポイントである「密」を避ける措置であり、やむを得ず開催する場合は煩雑な感染予防対策を施して開催しなければならない。

悪いことばかりではない。青少年育成新井地区委員会ではミニリーダーの運営にあたり、今年度からLINEを活用している。運営サイドの情報伝達はスマートフォームになり、瞬時に共有できるようになりました。参加者サイドも今まででは区民活動センターの箱に参加申込書を入れると申込みをメインに変更した。その後の行事案内やイベント毎の連絡はLINEを活用している。問い合わせ等も簡単になつた。コロナがICTを一步進めた実例と言えるのではないか。

少しすつ感染状況が改善しパンデミックの収束を見据える時期も近くなつた。これまでの経験を活かしながら「新たな世代と一緒に新たな地域活動」を摸索していくかなければ感じている。（濱本）

学校だより 平和の森小学校

開校以来、本校の4年生以上の希望する児童を対象に取り組んでいる「平和の森吹奏楽団」は、毎日の朝練習を基本に活動しています。例年、6～7月に校内で「デビューコンサート」を行っているところ、近年はコロナの状況を見て実施日を検討しており、今年は夏の第七波を考慮して、先日十月八日(土)にやっと行うことができました。今年度の新入団員が頑張って練習した成果を発表する姿は、心を打つものがあります。一週間後の十月十五日(土)には、久しぶりに開催されたお隣り「野方地区まつり」でも演奏されました。短い時間でしたが、それでも発表の機会があると嬉しいことです。地域の皆様に披露し、日頃の努力を褒め、励ましていただけます。今後のことについても、小学3年と練習を重ねていくと、小学生でもなかなかの腕前まで上達し、昨十年記念式典終了後は十一月の開校までアトラクションとして演奏したり、年度末の春休みには野方警察署主催の交通安全の集いでも演奏する機会をいただいました。その他、毎年暮れには校内でクリスマスコンサートを全校児童の前で行っています。今後、新井地区の皆様にも何かの機会にお披露目できたらと思います。

(校長 武智直貴)



10月22日(土)・23日(日) あらい文化祭

3年ぶりの地区まつりは装いも新たに「あらい文化祭」となって開催されました! 展示＆体験、パフォーマンス、将棋体験、みなさんの日頃の成果を発表する場になりました。



～地域の
絵日記～

あらいのまちの演奏会♪ ヴァイオリン&ピアノ ひと足早いクリスマス気分を!

12月5日(月)

午後2時から3時

新井区民活動センター2階 多目的室

事前予約制 定員50名(先着)

予約受付日時

11月29日(火)午前9時より

主催・申込先

新井区民活動センター運営委員会

電話または直接窓口へ ☎3389-1310



入場無料

校庭であそぼう

「だるまさんがころんだ！」スタッフの大好きな声が響きます。子どもたちはシーンとしてピタ！と止まります。大勢で走るその様子は圧巻でした。動いてしまった子どもたちとなり、鬼ごっここの始まりです。校庭中を走り回る子どもたちの姿、楽しそうな声が響き渡りました。

みんなとてもいいねいにビルに色を塗っていました。四角い箱を作つてさげてみると、今度は人形を下げてみました。くもり、それぞれが工夫をしていました。おうちの人を「驚かせよう！」そう言ってうれしそうに持ち帰る笑顔が印象的でした。



キッズ・プラザ令和
☎(53380)55515

新井薬師児童館
☎(33389)5438

10月のサタデープロジェクトは「ぶち★えんにち」を実施しました。

ヨーヨー、わなげ、さかみちコロコロボール、ぬりえの4つのコーナーを用意して楽しみました。今年度から始めた新井薬師児童館の「サタデープロジェクト」ですが、毎回多くの家族が参加してくれています。今日は天気にも恵まれ、57組154人が参加してくれました。公園にたまたま遊びに来た親子が、ふらっと参加できる、楽しいイベントになっています。



献血のお知らせ

病気やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、16～69歳まで(※)の健康な方に献血のご協力をお願いしています。受付採血から休憩まで40分程度かかります。

日 時：12月9日(金)

午前10時～12時

会 場：中野区役所前広場

※65歳以上の方の献血については、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。
血液は長期保存することができませんので、継続的に献血にご協力ください。

